

# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名	
	マントル細胞リンパ腫	VR-CAP	
投与予定	休薬を含めて1クール	21日	6~8クール施行

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)					
							0	1	4	8	11	
1	生食	50ml			点滴静注	5分	↓					
2	(リツキシマブ施行時) 生食 +	20ml			静注		↓					
	<input type="checkbox"/> メチルプレドニゾロン or <input type="checkbox"/> ヒドロコルチゾン	40mg 100mg										
3	生食★ リツキシマブ	100/500ml 375 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body ml	点滴静注	医師の指示通り	↓					
				★2回目以降90分で投与する場合は生食 250ml規格で →								
4	グラニセトロンバッグ プレドニゾロン	3mg/100ml 100mg			点滴静注	30分		↓				
5	生食 ドキシソルビシン	100ml 50 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	5分		↓				
6	生食	50ml			点滴静注	5分	↓	↓				
★プライミングフラッシュ生食必要★												
7	生食 シクロホスファミド	500ml 750 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	120分		↓				
8	ボルテゾミブ 生食 (1vを生食1.2mlで溶解)	1.3 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body 実際の投与量 ml	皮下注			↓	↓	↓	↓	↓

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
3	リツキシマブ	内訳 100mg: 0mg 500mg: 0mg	1~4mg/mlに希釈調製し使用する。 初回: 50mg/hで開始、30分毎に50mg/hずつup。最大400mg/h。 2回目以降: 下記のいずれかに該当する場合は、当該注入速度を選択することができる。 ・初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/hで開始可、30分毎に100mg/hずつup。最大400mg/h。 ・臨床上に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満である場合、90分間で投与可※ ※総液量を250mlとし、最初の30分は100ml/h、以後の60分は200ml/hで点滴
5	ドキシソルビシン		[総投与量]500mg/m <sup>2</sup> を超えないこと。
8	ボルテゾミブ		皮下注射の場合、1vを生食1.2mlで溶解する。静注の場合、1vを生食3mlで溶解する。 皮下注: 投与部位は左右の大腿部、腹部に交互に投与するなど注射部位を替えて行う

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
プレドニゾロン	100mg	分1朝食後又は分2朝食後	day2~5
(リツキシマブ施行時) イブプロフェン	100mg	リツキシマブ施行30分前	リツキシマブ施行日
(リツキシマブ施行時) d-クロルフェニラミン	2mg	リツキシマブ施行30分前	リツキシマブ施行日
備考			

リツキシマブの投与日は変更になる可能性あり。別途ステロイドを使用している場合はリツキシマブの前投薬のステロイドは使用しない場合あり。  
day1のプレドニゾロンは内服へ変更の場合あり。  
ステロイドの用量・投与期間は、患者の状態で変更する場合あり。  
ボルテゾミブは静注の場合あり。